

令和7年8月28日  
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 中央普及支援センター 病害虫防除室 直通：257-6972
--

## 令和7年度病害虫発生予報第6号について

今後発生が予想される大豆、果樹、野菜、花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 9月上旬～9月下旬

2 予報内容

### (1) 大豆

**葉焼病**の発生は**やや多**と予想される。病原菌は風雨によって飛散するため、防除する。

**カメムシ類**の発生は**多**と予想される。子実肥大期の防除を徹底する。

**ハスモンヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

### (2) 果樹

**カキ炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

**果樹カメムシ類**の発生は**多**と予想される。山林に近い園では特に被害が多くなる傾向があるので、園内への侵入に十分注意する。

**ハダニ類**の発生は**多**と予想される。発生源となる下草を刈り取った後に防除を行う。また、抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

### (3) 野菜・花き

**軟腐病**の発生は**多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

**ネギ黒斑病**の発生は**やや多**と予想される。予防防除を徹底する。

**トマトキバガ**の発生は**多**と予想される。発生を認めたらすぐに防除を行う。

**シロイチモジヨトウ**【病害虫発生予察注意報第4号（令和7年8月28日付）参照】、**アザミウマ類**、**オオタバコガ**、**コナガ**、**コナジラミ類**の発生は**多**と予想される。薬剤抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

**ハスモンヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

**ネギハモグリバエ**の発生は**やや多**と予想される。薬剤抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※病害虫防除実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。  
また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。